

キャッシュレスポイント還元消費喚起事業の実施状況について

1. 事業の概要

新型コロナウイルス感染症の拡大により大幅売上減等の影響を受けた対象店舗において、キャッシュレス決済サービス「PayPay」で支払った消費者に対し、ポイントを付与することで消費喚起を促し、市内中小企業者の売上回復を支援する。

また、キャッシュレス決済の導入を推進し、事業者のデジタル化を促進する。

(1) 付与率等

決済額の最大 20%(期間中上限 5,000 円相当、決済 1 回あたり上限 2,000 円相当)

(2) 対象店舗

市内中小企業者等のうち、PayPay を導入しており、以下のいずれかに該当する事業者

①令和 3 年度 出雲のお店応援プレミアム付商品券の指定店

②次のいずれかの給付金等を受給した者

ア 事業復活支援金

イ 令和 3 年度 島根県中小企業等事業継続特別給付金

ウ 令和 3 年度 島根県飲食店等事業継続特別給付金

エ 令和 3 年度 島根県飲食店等時短要請協力金

オ 令和 3 年度 出雲市中小企業者等事業継続支援給付金

カ 令和 4 年度 出雲市中小企業者等事業復活支援給付金

※大企業、コンビニ、スーパーマーケット、ドラックストアは対象外

2. 実施状況

(1) 期間

令和 4 年 8 月 1 日 (月) ~ 令和 4 年 8 月 31 日 (水) (1 か月間)

(2) 対象店舗

全 487 店舗

(3) 実績 (概算値 ※8 月 31 日時点)

①ポイント付与額

3,397 万円 (予算額 1 億 5,000 万円)

②対象店舗における総利用額 (経済効果)

2 億 600 万円

(4) 対象店舗募集の周知方法

①市が行った「令和 3 年度 出雲のお店応援プレミアム付商品券の指定店」及び「令和 3 年度 出雲市中小企業者等事業継続支援給付金の受給者」へ案内を直接送付

②市内商工団体の所報への掲載、募集要項の窓口での配布

③市ホームページ、市公式 SNS への掲載

④出雲ケーブルビジョン、平田ケーブルテレビでの放送

(5) 市民への周知方法

NO	実施内容	実施期間等
①	事業概要、PayPay の操作方法等を記載したパンフレットの全戸配布	広報いずも 7 月 20 日号に折込
②	JR 出雲市駅、電鉄出雲市駅への構内ポスターの設置	令和 4 年 8 月 1 日～8 月 31 日
③	一畑電車運行列車に中吊り広告の設置	令和 4 年 8 月 1 日～8 月 31 日
④	テレビコマーシャルの放送 (日本海テレビ、山陰中央テレビ、出雲ケーブルビジョン、平田ケーブルテレビ)	令和 4 年 7 月 15 日～8 月 31 日
⑤	懸垂幕、横断幕の設置 (全 7 か所 (本庁、各行政センター))	令和 4 年 8 月 1 日～8 月 31 日
⑥	新聞広告の掲載 (山陰中央新報社、島根日日新聞社)	令和 4 年 7 月 16 日、17 日、 8 月 1 日×2 回、8 月 21 日 (計 5 回)
⑦	ウェブ広告の実施 (Google、Yahoo、Line 広告)	令和 4 年 7 月 15 日～8 月 31 日
⑧	PayPay 使い方講座(スマホ教室)の開催 (全 10 か所で 151 名の参加)	令和 4 年 7 月下旬～8 月上旬
⑨	対象店舗へ PR ポスター、ドアステッカー、のぼりの配布、設置	令和 4 年 8 月 1 日～8 月 31 日

3. 事業の検証について

(1) 今回の事業のポイント付与額が予算額を下回った理由について

- ①対象と思われる市が行った「令和 3 年度 出雲のお店応援プレミアム付商品券の指定店」及び「令和 3 年度 出雲市中小企業者等事業継続支援給付金の受給者」の計約 2,500 事業者以案内文を送付したが、申請された店舗が少なく、対象店舗の件数が伸び悩んだこと。
- ②夏休み期間中での実施だったため、観光施設や土産物店での利用は多かった一方で、コロナ感染者が増加したことにより、市内飲食店等での消費意欲が落ち込んだこと。
- ③目的が短期間での売上回復であったことを踏まえ、期間を 1 か月としたこと。

(2) 今後の対応について

対象店舗や申請されなかった事業者を対象にアンケートや聞き取り調査等を実施し、今後の経済対策に生かしていく。